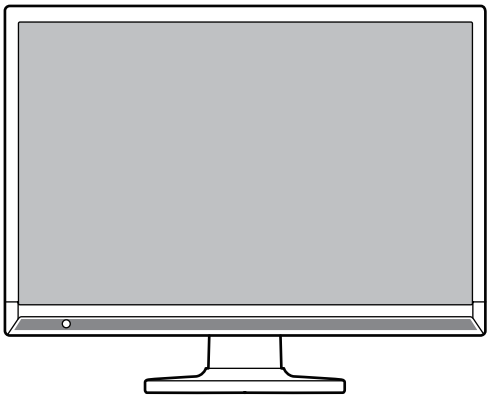
SHARP

取扱説明書

液晶カラーモニター

形名 LL-W191
LL-W221



（このイラストは LL-W221 です。）

もくじ

		ページ
はじめに	**安全にお使いいただくために**	**3**
	付属品の確認	**5**
	台座の取り付け・角度調整	**6**
	各部の名前とはたらき	**7**
準　備	**接続・電源入／切**	**8**
	コンピューターの接続	8
	電源の接続	8
	電源の入れかた	9
	入力端子の切り換え	9
	電源の切りかた	9
	ヘッドホン（市販）の接続	9
画面調整	**画面・スピーカー音量の調整**	**10**
	バックライトの明るさ調整	10
	スピーカーの音量調整	10
	画面の自動調整（アナログ接続時）	11
	画面の手動調整	12
	製品情報の確認	15
補　足	**お手入れ・保管・アフターサービスについて**	**16**
	お手入れのしかた	16
	保管にあたって	16
	リサイクルについて	16
	故障かな？と思ったら	17
	アフターサービスについて	17
	お客様ご相談窓口のご案内	**19**
	仕様	**20**
	VESA 規格準拠アームの取り付けかた	**23**

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「安全にお使いいただくために」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができる所に必ず保存してください。

※ TFT カラー液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また、見る角度によっては、色のムラや明るさのムラが生じる場合がありますが、いずれも本機の動作に影響を与える故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
※ 同じ画像を長時間表示させないでください。残像現象が起こる場合があります。
残像現象は、動画等を表示することで、徐々に軽減されます。
※ 輝度調整を最小にすると、見えにくいことがあります。
※ コンピューター信号の質が表示品位に影響を与えることがあります。高品位の映像信号を出力できるコンピューターの使用をおすすめします。
※ ケーブルは付属のものを使用してください。
※ 本機は付属品も含め日本国内（AC100V）用です。海外では使えません。
※ 付属の電源コードは当該製品専用です。他の機器に使用しないでください。

電波障害に関するご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

正しい取り扱いをしても、電波の状況によりラジオやテレビジョン受信機の受信に影響を及ぼすことがあります。そのようなときは、次の点にご注意ください。
※ この製品をラジオ、テレビジョン受信機から十分に離してください。
※ この製品とラジオ、テレビジョン受信機を別のコンセントに接続してください。
詳しくは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご相談ください。

本書の表記について

※ 本書は、LL-W191、LL-W221 共通の取扱説明書です。機種ごとに仕様が異なる箇所では、形名を記載して説明しています。特に形名の記載がない箇所は、機種共通の説明です。
※ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Macintosh は、米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
※ そのほか、本書で記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
※ 本書で記載されている画面表示のイラストは、実際の画面表示とは多少異なることがあります。

お願い

※ この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口までご連絡ください。
※ お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
※ この製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 付属品の形状が本書に記載の内容と多少異なることがあります。

安全にお使いいただくために

図記号について　この取扱説明書には、安全にお使いいただくためのいろいろな表示をしています。その表示を無視して、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ **警告**　人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

⚠ **注意**　人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味（図記号の一例です。）

⚠ 記号は、**気をつける**必要があることを表しています。

記号は、**してはいけない**ことを表しています。

記号は、**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警 告

電源コードを傷つけたり、重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。また、加工しないでください。
電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り始めたら、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や感電の原因となります。

発熱したり、煙が出たり、変なにおいがするなどの異常が起きたら、すぐに本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店にご連絡ください。
異常な状態で使用を続けると、火災や感電の原因となります。

風通しの悪い場所、ほこりや湿気の多い場所、油煙や湯気の当たる場所では使用しないでください。火災の原因となります。

水などの液体がかからないようにしてください。また、クリップやピンなどの異物が機械の中に入らないようにしてください。
火災や感電の原因となります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

⚠ 警 告

アースを接続してください。アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。順番が異なると感電の原因となります。

⚠注意

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。付属以外のものを使用すると、火災の原因となることがあります。

電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用してください。指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

電源プラグは、コンセントに直接差し込んでください。タコ足配線をすると、過熱により火災の原因となることがあります。

火災や感電を防ぐために、次のことをお守りください。

- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 夜間や旅行などで長時間使用しないときは、本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電源プラグや電源コードが熱いとき、またコンセントへの差し込みが緩く電源プラグがぐらついているときは、使用をやめて、お買いあげの販売店にご相談ください。

ぐらつく台の上や、不安定な場所に置かないでください。また、強い衝撃や振動を与えないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど、高温になる場所で使用しないでください。
発熱や発火の原因となることがあります。

硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。破損してけがの原因となることがあります。

あお向け、横倒し、逆さまにして使用しないでください。密閉した箱に入れたり、じゅうたんや布団の上に置いたり、布などをかけたりしないでください。
通風孔をふさぐと、熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。

⚠注意

液晶パネルを強く押したり、先のとがった物で押したりしないでください。液晶パネルに力が加わると、破損や故障、けがの原因となることがあります。

改造や分解はしないでください。また、お客様による修理はしないでください。火災や感電、けがの原因となることがあります。

健康のために、次のことをお守りください。

- 連続して使用する場合は、1時間ごとに10分から15分の休憩を取り、目を休ませてください。
- 明暗の差が大きい所では使用しないでください。
- 日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

移動するときは、電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外してください。コードやケーブルが引っ掛かり、落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

ディスプレイ部とスタンド部の間（特に取り付け部分付近）で指をはさまないようにご注意ください。

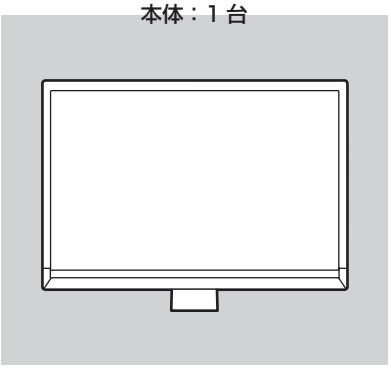
通風孔に付着したほこりやゴミはこまめに取り除いてください。内部に入ったほこりの清掃はお買いあげの販売店に依頼してください。
通風孔や内部にほこりがたまると、発熱や発火、故障の原因となることがあります。（内部の清掃費用については、お買いあげの販売店にご相談ください。）

本機の温度が高くなる部分に長時間触れないでください。低温やけどの原因となることがあります。

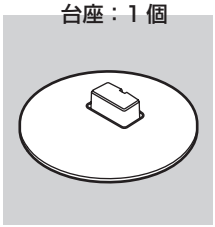
付属品の確認

箱の中に次のものが入っているか確かめてください。
万一、不足のものがありましたら、お買いあげの販売店にご連絡ください。

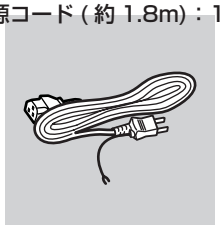
本体：1 台



台座：1 個



電源コード (約 1.8m)：1 本



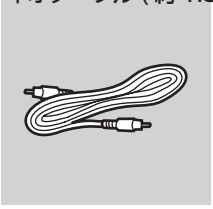
アナログ信号ケーブル (約 1.8m)：1 本

(ミニD-sub15ピン−ミニD-sub15ピン)

デジタル信号ケーブル (約 1.8m)：1 本

(DVI-D24ピン−DVI-D24ピン)

オーディオケーブル (約 1.8m)：1 本



- **取扱説明書：1 部**
- **保証書：1 部**

※ 梱包箱は、輸送などに備えて保管しておいてください。
※ この製品は日本国内向けであり、日本語以外の取扱説明書はありません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

台座の取り付け・角度調整

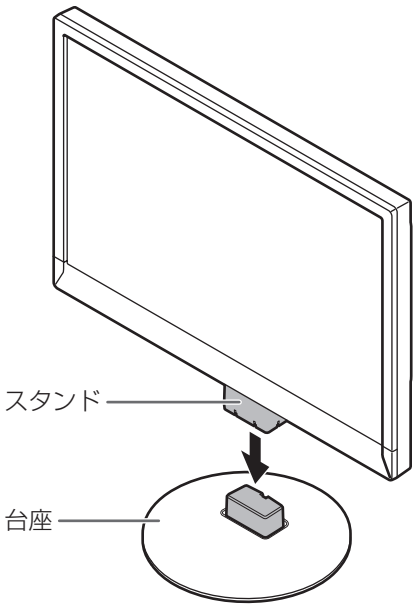
⚠ 注意 **指などをはさまないようにご注意ください。**

■台座の取り付け

！ ご注意

※ 台座を取り付けるときは、液晶パネルに触れないようご注意ください。液晶パネルに力が加わると、破損の原因となります。
※ 台座がしっかりと取り付けられたことを確認してからご使用ください。はめ込みが不十分だと、本体が転倒したり、台座が落下したりするおそれがあります。
※ 輸送のときは、台座を取り外してから梱包してください。台座を取り付けたまま輸送すると、スタンドや台座の破損の原因となります。

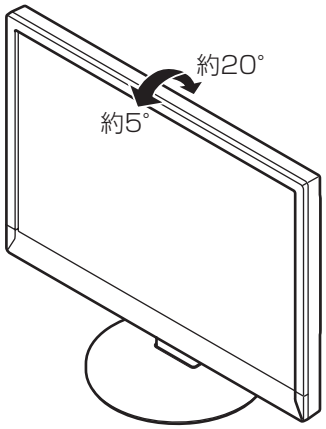
1. 台座を水平な机の上などに置き、ゆっくりとスタンドをはめ込む。
カチッと音がするまではめ込んでください。



■角度調整

！ ご注意

※ ディスプレイ部を動かすときは、必ず枠の部分を持ってください。液晶パネルに手を当てて力を加えると、破損の原因となります。

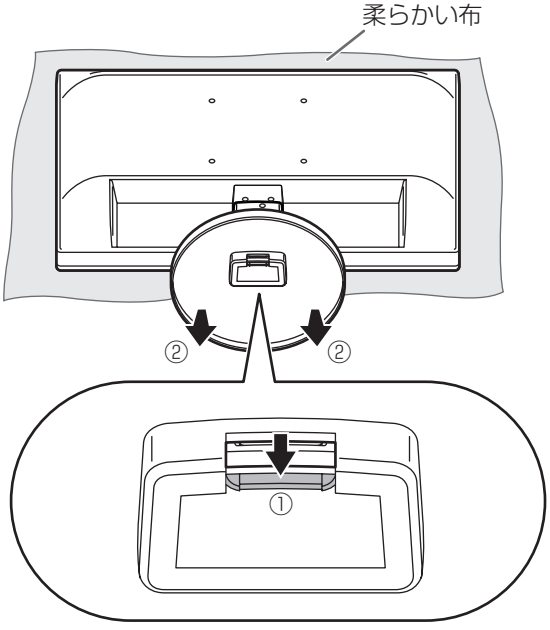


■台座の取り外し

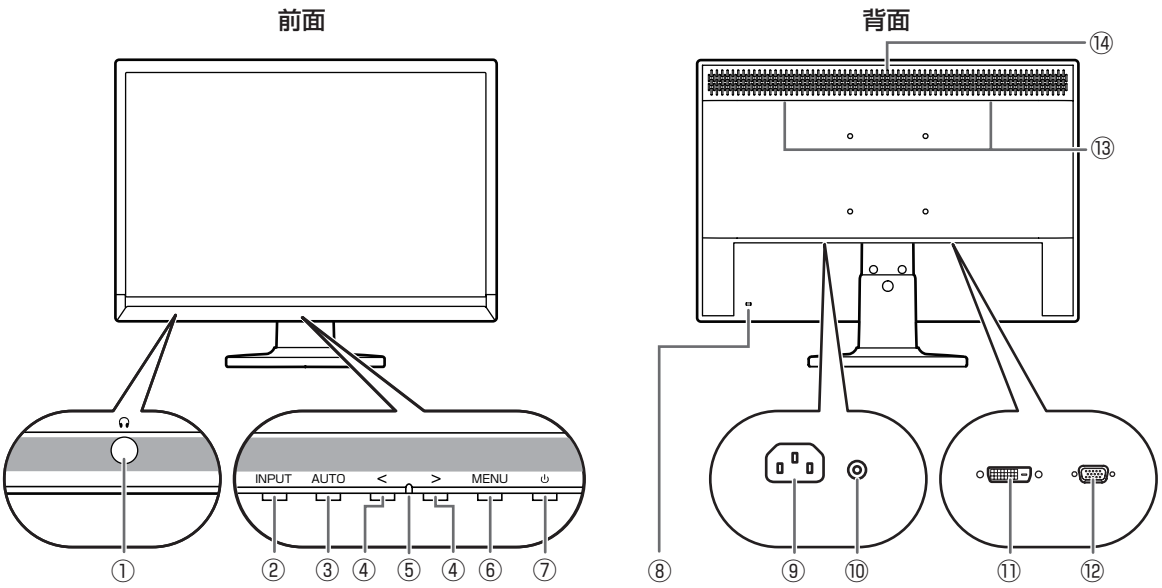
！ ご注意

※ 台座を取り外すときは、液晶パネルに触れないようご注意ください。液晶パネルに力が加わると、破損の原因となります。

1. 柔らかい布などを水平なところに敷き、表示部を下向きにしてゆっくりと置く。
2. 底にあるロックを外し、台座を取り外す。
レバーを矢印方向に押しながら、台座を手前に引きます。



各部の名前とはたらき



① ヘッドホン端子.....市販のヘッドホンを接続することができます。(9 ページ)
② [INPUT] ボタン .....信号の入力端子を切り換えます。(9 ページ)
③ [AUTO] ボタン .....調整メニューが表示されていないときは、画面の自動調整を行います。(11 ページ)
調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択に使います。(12 ページ)
④ [<] [>] ボタン.....調整メニューが表示されているときは、調整項目の選択や調整値の増減に使います。
調整メニューが表示されていないときは、バックライトの明るさやスピーカーの音量を調整します。(10 ページ)
⑤ 電源ランプ .....通常表示時は緑色に、入力信号待機時はオレンジ色に点灯します。
⑥ [MENU] ボタン.....調整メニューの表示、切り換え、消去を行います。(11 ～ 15 ページ)
⑦ 電源ボタン (⏻) .....電源の入／切を行います。(9 ページ)
⑧ 盗難防止ホール (K).....市販の盗難防止ロックを接続すると、本体を持ち運べないように固定することができます。盗難防止ホールは、Kensington 社製マイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
⑨ 電源端子 .....付属の電源コードを接続します。(8 ページ)
⑩ 音声入力端子 .....付属のオーディオケーブルを使って、コンピューターの音声出力端子と接続します。(8 ページ)
⑪ DVI-D 入力端子.....付属のデジタル信号ケーブルを使って、コンピューターの出力端子 (DVI-D または DVI-I) と接続します。(8 ページ)
⑫ D-SUB 入力端子.....付属のアナログ信号ケーブルを使って、コンピューターの出力端子 (D-SUB) と接続します。(8 ページ)
⑬ スピーカー .....スピーカーが内蔵されています。本機と接続している外部機器から入る音声を聞くことができます。
⑭ 通風孔 .....背面の穴は、機器内部の熱を放出するためのものです。
※ 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、故障の原因となります。

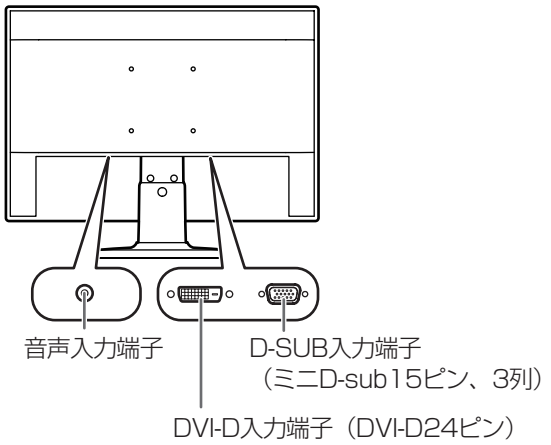
接続・電源入／切

！ ご注意

※ 接続は、本機およびコンピューターの電源を切った状態で行ってください。
※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの原因となります。

コンピューターの接続

本機とコンピューターを信号ケーブル（付属）・オーディオケーブル（付属）で接続します。



アナログ接続（D-SUB）

- 本機の D-SUB 入力端子とコンピューターの出力端子（D-SUB）を付属のアナログ信号ケーブル (ミニ D-sub15 ピン) で接続します。
- 端子の向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。
- Power Macintosh の出力端子が D-sub15 ピン 2 列の場合は、Macintosh 用変換アダプター（市販）が必要です。
- Sun に接続する場合、変換アダプター（市販）が必要になることがあります。

デジタル接続（DVI-D）

- 本機の DVI-D 入力端子とコンピューターの出力端子（DVI-D または DVI-I）を付属のデジタル信号ケーブル (DVI-D24 ピン) で接続します。
- 端子の向きを確かめ、垂直に奥まで差し込んだ後、両側のネジで固定します。

オーディオケーブルの接続

- 本機の音声入力端子とコンピューターの音声出力端子を付属のオーディオケーブル（ミニステレオジャック）で接続します。

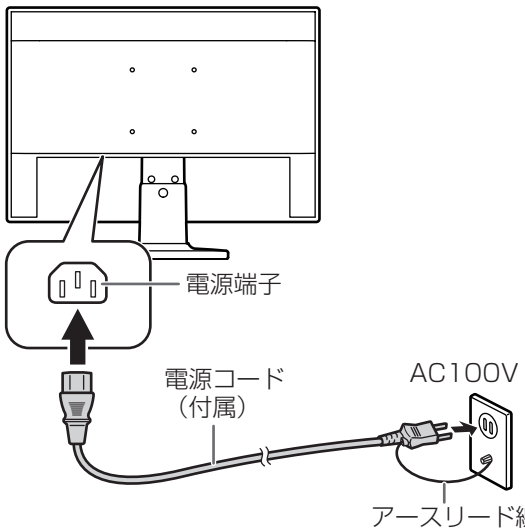
？ Memo

※ 接続するコンピューター（ビデオカード）によっては、正しく表示されないことがあります。

電源の接続

⚠ 注意 **電源は、AC100V（50/60Hz）のコンセントを使用してください。**指定以外の電源を使用すると、火災の原因となることがあります。

電源コードは、必ず付属のものを使用してください。

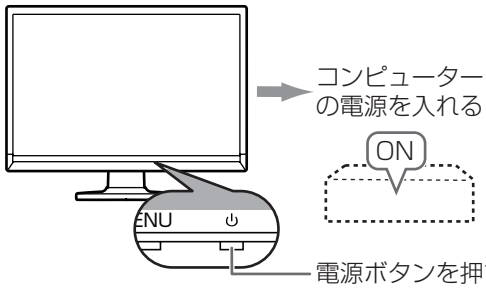


⚠ 警告 **アースを接続してください。**アースが接続されない状態で万一故障した場合は、感電のおそれがあります。

- アースリード線をコンセントの他の電極に挿入・接触させないでください。
- アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。
  また、アースを外す場合は、必ず先に電源プラグをコンセントから抜いてください。
  順番が異なると感電の原因となります。

電源の入れかた

1. 本機の電源ボタン（ ⏻ ）を押す。
2. コンピューターの電源を入れる。
本機の電源ランプが緑色に点灯し、画面が表示されます。



※ 電源を入れた後、画面が表示されるまでに少し時間がかかることがあります。
※ コンピューターが接続されている入力端子が選択されていないと、画面は表示されません。必要に応じて、入力端子を切り換えてください。（右記）

! ご注意

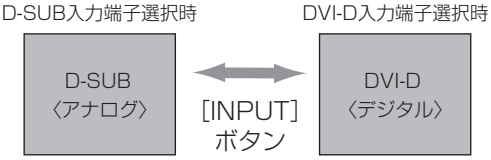
※ 電源切／入は、必ず約 5 秒以上の間隔を空けてください。急に電源を入れると、故障や誤動作の原因となります。

? Memo

※ アナログ接続の場合、本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、画面の自動調整（11 ページ）を行ってください。
（デジタル接続でお使いの場合は、特に調整の必要はありません。）
※ セットアップ情報・ICC プロファイル（Windows）や ColorSync プロファイル（MacOS）を接続先のコンピューターにインストールする場合は、ホームページからコンピューターに各ファイルをダウンロードしてください。
http://www.sharp.co.jp/lcd-display/
※ ノートパソコンと接続して、ノートパソコン画面と同時表示するように設定されていると、MS-DOS 画面が正しく表示できないことがあります。その場合は、本機のみの表示となるように設定してください。

入力端子の切り換え

［INPUT］ボタンで、信号の入力端子を切り換えます。

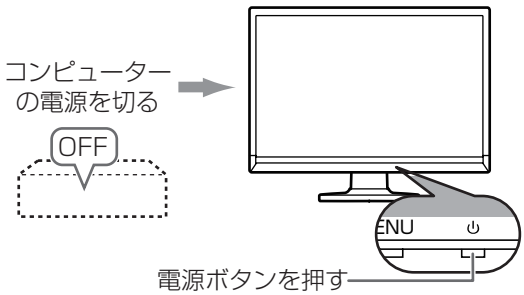


? Memo

※ 入力信号がない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

電源の切りかた

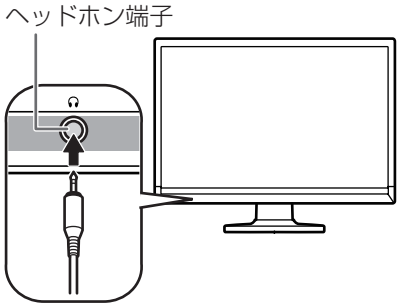
1. コンピューターの電源を切る。
2. 本機の電源ボタン（ ⏻ ）を押す。
電源ランプが消灯します。



長時間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

ヘッドホン（市販）の接続

ステレオミニプラグ（φ 3.5mm）の付いたヘッドホン（市販）を接続することができます。



? Memo

※ ヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからは音が聞こえなくなります。

画面・スピーカー音量の調整

アナログ接続時

1. 初めに自動調整をする。（11 ページ）
2. 必要に応じて手動調整をする。（12 ページ）

デジタル接続時

基本的には、調整をしなくてもお使いいただけます。
必要に応じて手動調整ができます。（12 ページ）

? Memo

※ 調整内容は、電源を切っても保持されます。

■調整値のオールリセット

すべての調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. [AUTO] ボタンと [MENU] ボタンの両方を押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。

画面に「オールリセット中」と表示されるまで押し続けてください。メッセージの表示が消えると、リセットは完了です。

? Memo

※「オールリセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、オールリセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■画面調整メニューのリセット

アナログ接続時の画面調整メニュー（クロック、フェーズ、水平位置、垂直位置）の調整値を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

1. 本機の電源を入れる。

2. [<] ボタンと [MENU] ボタンの両方を押す。

画面に「リセット中」と表示されて、リセットが完了します。

? Memo

※「リセット中」の表示中は、操作ボタンは効きません。

※ 調整ロックが設定されている場合、リセットはできません。調整ロックを解除してから操作してください。

■調整ロック機能

電源ボタン以外の操作ボタンを効かなくして（ロック設定）、調整後の内容の変更を防ぐことができます。

1. 本機の電源を切る。

2. [MENU] ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。

画面に「調整ロックを設定しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. [>] ボタンを押す。

調整ロックの解除

1. 本機の電源を切る。

2. [MENU] ボタンを押しながら、電源ボタンを押す（電源を入れる）。

画面に「調整ロックを解除しますか？」と表示されるまで、ボタンを押し続けてください。

3. [>] ボタンを押す。

バックライトの明るさ調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、[<] ボタンまたは [>] ボタンを押す。

2. [AUTO] ボタンで「明るさ」を選択する。

3. [<] ボタン（暗くする）、[>] ボタン（明るくする）を押して調整する。

調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

スピーカーの音量調整

1. 調整メニューが表示されていない状態で、[<] ボタンまたは [>] ボタンを押す。

2. [AUTO] ボタンで「音量」を選択する。

3. [<] ボタン（小さくする）、[>] ボタン（大きくする）を押して調整する。

調整用の画面は、最後のボタン操作から数秒後、自動的に消えます。

画面の自動調整（アナログ接続時）

画面調整メニューのクロック、フェーズ、水平位置、垂直位置を自動的に調整します。

? Memo

※ 本機を初めて使用するときや、使用中のシステムの設定を変更したときは、ご使用の前に自動調整を行ってください。

※ デジタル接続している場合は、自動調整をしなくてもお使いいただけます。必要に応じて手動調整してください。（12 ページ）

■調整のための画面表示について

画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、あらかじめ画面全体が明るくなるような画像を表示してください。

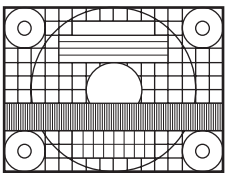
Windows をお使いの場合、ホームページからコンピューターに調整用パターン（調整用ファイル ）をダウンロードしてご利用ください。

http://www.sharp.co.jp/lcd-display/

調整用パターン（Windows 用）の表示

1. ダウンロードした「Adj_uty.exe」をダブルクリックする。

調整用パターンが表示されます。



2. 調整が終わったら、コンピューターの［Esc］キーを押して、調整用プログラムを終了する。

? Memo

※ 使用するコンピューターの表示が 6 万 5 千色の場合、カラーパターンの各色の階調が異なって見えたり、グレースケールが色付きに見えることがあります。（入力信号の仕様によるもので、故障ではありません。）

■自動調整のしかた

［AUTO］ボタンで行う方法

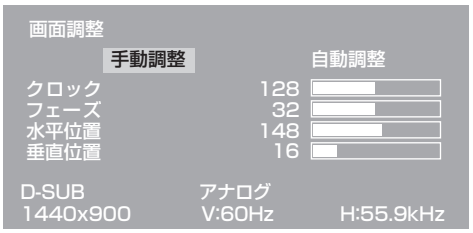
1. ［AUTO］ボタンを押す。

2. もう一度、［AUTO］ボタンを押す。

「自動調整中」と表示され、数秒後に「自動調整中」の表示が消えます。（これで自動調整は完了です。）

メニューから行う方法

1. ［MENU］ボタンを押す。



2. ［>］ボタンを押して、「自動調整」を選択する。

画面が黒くなり、「自動調整中」と表示され、数秒後に画面調整メニューに戻ります。

（これで自動調整は完了です。）

3. ［MENU］ボタンを 5 回押して、調整メニューを消す。

? Memo

※ 自動調整後、次のような場合は必要に応じて手動調整を行ってください。（12 ページ）

- さらに微調整が必要なとき
- 「自動調整できませんでした」と表示されたとき（画面全体が極端に暗い場合など、表示中の内容によっては自動調整ができないことがあります。再度、自動調整をする場合は、調整用パターンを利用するか、画面全体が明るくなるような画像に変えてみてください。）
- コンピューターからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときなど（自動調整では正しく調整できないことがあります。）

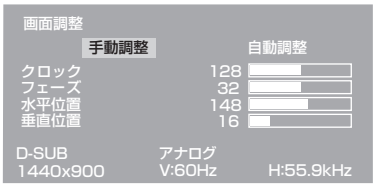
※ 1 回の自動調整で正しく調整できない場合は、自動調整を 2 ～ 3 回繰り返してください。

※ 動画やコマンドプロンプトなど、画面によっては自動調整が正しく行われないことがあります。

画面の手動調整

1. **画面調整メニューや映像調整メニューを調整する場合は、画面全体が明るくなるような画像を表示する。**（11 ページ）
2. **[MENU] ボタンを押して、調整メニューを表示する。**

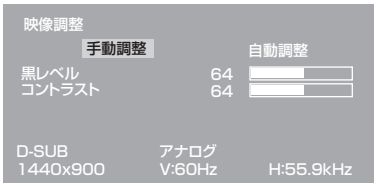
画面調整メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

⬇ [MENU] ボタン

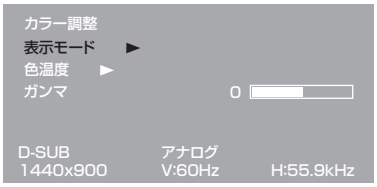
映像調整メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

⬇ [MENU] ボタン

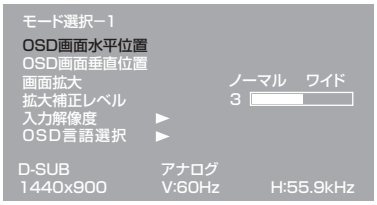
カラー調整メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

⬇ [MENU] ボタン

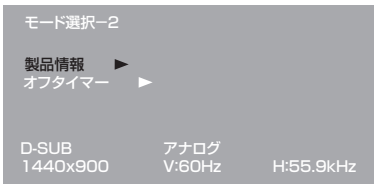
モード選択ー 1 メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

⬇ [MENU] ボタン

モード選択ー 2 メニュー



[AUTO] ボタンで調整項目を選びます。

⬇ [MENU] ボタン

調整メニュー終了

? Memo

※ 調整メニューは、最後のボタン操作から約 30 秒後、自動的に消えます。

※ 本書では、調整用パターン（Windows 用）を利用した調整のしかたを基本に説明します。

■画面調整メニュー

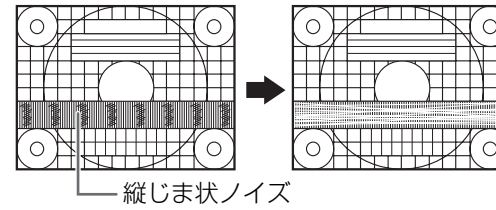
デジタル接続でお使いの場合、調整する必要はありません。

自動調整

[>] ボタンで選択すると、「クロック」「フェーズ」「水平位置」「垂直位置」が自動的に調整されます。

クロック

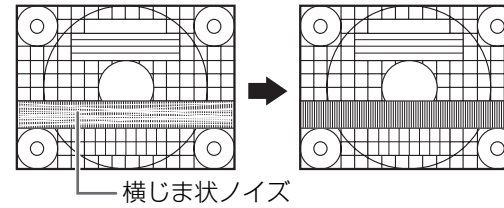
調整用パターンに縦じま状のノイズが出ないように [<] または [>] ボタンで調整します。



フェーズ（位相）

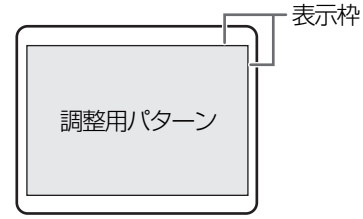
調整用パターンに横じま状のノイズが出ないように [<] または [>] ボタンで調整します。

※「フェーズ」の調整は、必ず「クロック」を正しく調整した後で行ってください。



水平位置、垂直位置

調整用パターンの全体が画面内に表示されるように、左右（水平位置）、上下（垂直位置）の位置を [<] または [>] ボタンで調整します。



■映像調整メニュー

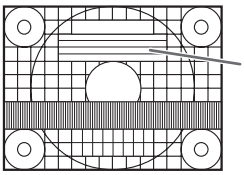
デジタル接続している場合は、自動調整をしなくてもお使いいただけます。必要に応じて手動調整してください。

自動調整（アナログ接続時）

［>］ボタンで選択すると、「黒レベル」「コントラスト」が自動的に調整されます。自動調整後、必要に応じて手動調整してください。

黒レベル

カラーパターンを見ながら、画面全体の明るさを［<］または［>］ボタンで調整します。



コントラスト

カラーパターンを見ながら、すべての階調が表示されるように［<］または［>］ボタンで調整します。

? Memo

自動調整（オートゲインコントロール機能）について

※ 画面に表示中の最も明るい色と最も暗い色を基準に調整します。

※ 調整用パターンを利用しないときは、5mm×5mm以上の白い部分と黒い部分がある画像を表示してください。表示がない場合は正しく調整できないことがあります。

※ コンピューターからの信号がコンポジット・シンクやシンク・オン・グリーンのときは、自動調整ができないことがあります。その場合は手動で調整してください。

※「自動調整できませんでした」と表示されたときは、手動調整を行ってください。

■カラー調整メニュー

表示モード

①「表示モード」を選択して、［>］ボタンを押す。
表示モードメニューが表示されます。

②［<］または［>］ボタンで表示モードを選ぶ。

標準.....液晶モニター本来の色合いを生かした表示になります。

オフィス...輝度を下げて表示します。（消費電力が下がります。）

sRGB.....IEC（International Electrotechnical Commission）が規定した色再現性の国際規格です。液晶の特性を考慮した色変換が行われ、原画像に基づいた色合いでの表示になります。

あざやか...原色をダイナミックに表示します。

③［MENU］ボタンを押す。

? Memo

※「sRGB」または「あざやか」に設定すると、「色温度」は「標準」に、「ガンマ」は「0」になります。

色温度

①「色温度」を選択して、[>] ボタンを押す。
色温度メニューが表示されます。

② [<] または [>] ボタンで「寒色」「·」「標準」「·」「暖色」「ユーザー設定」を選ぶ。

寒色.....標準設定よりも青みがかった色合い

•.....標準設定よりもやや青みがかった色合い

標準.....標準設定

•.....標準設定よりもやや赤みがかった色合い

暖色.....標準設定よりも赤みがかった色合い

ユーザー設定

「赤色コントラスト」、「緑色コントラスト」、「青色コントラスト」の設定値が表示され、微調整ができます。

[AUTO] ボタンで「赤色コントラスト」「緑色コントラスト」「青色コントラスト」を選んで調整します。

赤色コントラスト ..... [<] ボタンで青緑色、[>] ボタンで赤色

緑色コントラスト ..... [<] ボタンで紫色、[>] ボタンで緑色

青色コントラスト ..... [<] ボタンで黄色、[>] ボタンで青色

③ [MENU] ボタンを押す。

? Memo

※「標準」以外では、すべての階調を表示することはできません。すべての階調を表示したいときは、「標準」に設定してください。

※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、「標準」以外に設定することはできません。

ガンマ

暗い画像や明るい画像が見やすくなるように、[<] または [>] ボタンで調整します。暗くて見えにくい場合は数値を上げ、明るくて見えにくい場合は数値を下げます。

※「表示モード」が「sRGB」または「あざやか」の場合、ガンマの設定はできません。

■モード選択ー 1 メニュー

? Memo

※ 入力信号の解像度によっては、項目の選択ができても、表示状態が変わらないことがあります。

OSD 画面水平位置

調整メニューの表示位置を [<] または [>] ボタンで左右に動かします。

OSD 画面垂直位置

調整メニューの表示位置を [<] または [>] ボタンで上下に動かします。

画面拡大

画面の表示方法を [<] または [>] ボタンで選択します。

ノーマル..アスペクト比（縦横比）固定で拡大

ワイド.....画面全体に拡大
（アスペクト比（縦横比）が変わることがあります。）

※ 解像度が以下の場合、「ノーマル」を選んでも「ワイド」で表示されます。
720 × 400、848 × 480、1280 × 768、
1360 × 768

拡大補正レベル

拡大表示の画像のシャープさを [<] または [>] ボタンで調整します。

入力解像度（アナログ接続時）

D-SUB 入力端子に接続したコンピューターの解像度が以下の場合、解像度に合わせて選びます。

480 ライン .....848 × 480、640 × 480

768 ライン .....1360 × 768、1280 × 768、1024×768

1050 ライン ....1680 × 1050、1400×1050
(LL-W221 のみ)

①「入力解像度」を選択して、[>] ボタンを押す。
入力解像度メニューが表示されます。

② [AUTO] ボタンで「480 ライン」「768 ライン」「1050 ライン」を選ぶ。

③ [<] または [>] ボタンで選ぶ。

④ [MENU] ボタンを押す。

OSD 言語選択

調整メニューの言語を変更することができます。

①「OSD 言語選択」を選択して、[>] ボタンを押す。
言語選択メニューが表示されます。

② [AUTO] ボタンで言語を選択する。

③ [MENU] ボタンを押す。

■モード選択ー 2 メニュー

製品情報

本機の型名と製造番号を確認することができます。

①「製品情報」を選択して、[>] ボタンを押す。
　製品情報が表示されます。
② [MENU] ボタンを押す。
　製品情報の表示を終了します。

オフタイマー

一定時間で電源を自動的に切ることができます。

①「オフタイマー」を選択して、[>] ボタンを押す。
②「する」「しない」を [<] または [>] ボタンで設定する。
　「する」の場合は、[AUTO] ボタンを押し、[<] または [>] ボタンで電源が切れる時間を設定します。(1 ～ 23 時間の範囲で 1 時間単位)
③ [MENU] ボタンを押す。

※「する」の場合、電源が切れる約 5 分前から画面右上に残り時間が表示されます。(1 分単位で数秒間)
※ 上記残り時間の表示から電源が切れるまでの操作について
- 時間を延長したいときは、電源ボタンを押します。電源ボタンを押すと、1 時間後に電源が切れるようになります。
  (次に電源を入れたとき、オフタイマーは上記手順②で設定した時間のままです。)
- 電源を切りたいときは、電源ボタンを 2 回押します。

※「する」に設定されていると、本機の電源を入れるとき、設定時間が画面に数秒間表示されます。(入力信号が無い場合は「入力信号がありません」と表示されます。)

製品情報の確認

本機の型名と製造番号を確認することができます。

1. 本機の電源を切る。
2. [AUTO] ボタンを押しながら、電源ボタンを押す (電源を入れる)。
　製品情報が表示されます。
3. [MENU] ボタンを押す。
　製品情報の表示を終了します。

お手入れ・保管・アフターサービスについて

お手入れのしかた

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ シンナー、ベンジン、アルコール、ガラスクリーナーなどは絶対に使用しないでください。変色や変形の原因となります。
※ 硬いものでこすったり、強い力を加えないでください。傷が付いたり、故障の原因となります。

■キャビネットや操作パネル部分

キャビネットや操作パネル部分の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから汚れをふき取ってください。

■液晶パネル部分

液晶パネルの表面の汚れやほこりは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。（レンズクリーナーやガーゼなどの柔らかい布でもかまいません。）

? Memo

※ 本機に使用している蛍光管には水銀が含まれています。本機を廃棄する場合は、資源有効利用促進法に基づき、回収・リサイクルにご協力ください。

保管にあたって

長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

! ご注意

※ ゴム製品やビニール製品などと長時間接触させないでください。変色や変形の原因となります。

リサイクルについて

使用済み液晶モニターを有益な資源として再利用するためリサイクル（事業系）にご協力ください。
http://www.sharp.co.jp/support/b_pcrecycle/index.html

本機を個人（家庭）用としてご購入されたお客様には、お申し込みにより PC リサイクルマークを無償で提供させていただきます。
http://www.sharp.co.jp/support/pcrecycle-mk/index.html

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら、修理を依頼される前に次の点をご確認ください。
それでも正常に動かないときは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にご連絡ください。

本機で使用している蛍光管には寿命があります。

※ 画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、寿命です。お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
※ ご使用初期において、蛍光管の特性上、画面がチラつくことがあります（故障ではありません）。
その場合は、いったん電源を切り、電源を入れ直してご確認ください。

画面に何も表示されない（電源ランプ消灯）

※ 電源コードは正しく接続されていますか。
（8 ページ）

画面に何も表示されない（電源ランプ点灯）

※ コンピューターと正しく接続されていますか。
（8 ページ）
※ コンピューターの電源は入っていますか。
※ 信号の入力端子は正しく選択されていますか？
（9 ページ）
※ コンピューターの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（21 ページ）
※ コンピューターの省電力機能が動作していませんか。キーボードのキーを押すか、マウスを動かしてみてください。

操作ボタンが効かない

※ 調整ロックが設定されていませんか。（10 ページ）

画面が乱れている

※ コンピューターの信号タイミングは本機の仕様に合っていますか。（21 ページ）
※ アナログ信号でお使いの場合、画面自動調整を行ってください。（11 ページ）
※ お使いのコンピューターで垂直周波数（リフレッシュレート）が変更できる場合は、低い周波数に変えてみてください。（21 ページ）

音が聞こえない

※ オーディオケーブルは正しく接続されていますか。
（8 ページ）
※ 音量調整を行ってください。（10 ページ）
※ ヘッドホンが接続されているときは、スピーカーの音は鳴りません。
※ 本機が入力信号待機状態（電源ランプがオレンジ色）になっているときは、スピーカーの音は鳴りません。

アフターサービスについて

■製品の保証について

この製品には保証書がついています。保証書は、販売窓口にて所定事項を記入してお渡ししますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
保証期間はお買いあげの日から 3 年間です。保証期間中でも修理は有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

■有寿命部品について

本製品の通常の使用において、製品の使用環境（温湿度など）や使用頻度、経過時間等により、劣化／磨耗が進行し、寿命が著しく短くなる可能性のある部品があります。これを「有寿命部品」と呼びます。
本製品には、下記の有寿命部品が含まれています。
ご使用状態によっては早期に部品交換（有料）が必要となる場合があります。

有寿命部品

バックライト
※ ユニット単位の交換になります。

■修理を依頼されるときは

先に「故障かな？と思ったら」をお読みのうえ、もう一度お調べください。それでも異常があるときは、使用をやめて、電源コードをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にこの製品を**「お持ち込み」**のうえ、修理をお申し付けください。
ご自分での修理はしないでください。たいへん危険です。

保証期間中

保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

アフターサービスについてわからないことは、お買いあげの販売店、またはもよりのお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口のご案内（19 ページ）

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使い方・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、 および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。

※電話番号をお確かめのうえ、お間違いのないようにおかけください。
※FAX送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

よくあるご質問やメールでのお問い合わせは…
<シャープサポートページ>
http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法・お買い物相談など
【お客様相談センター】

シャープ株式会社
0120-303-909（携帯電話・PHSからもご利用いただけます。）

受付時間　月～土曜：9:00～18:00 / 日曜・祝日：9:00～17:00（年末年始を除く）

■IP電話などフリーダイヤルをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043-351-1822	FAX：043-299-8280
西日本相談室	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06-6792-1583	FAX：06-6792-5993

修理のご相談など
【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社
0570-00-5008（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。●携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間　月～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社　098-861-0866
（月～金曜： 9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

持込修理や部品購入のご相談は、下記窓口でも承っております。

シャープドキュメントシステム株式会社 <受付時間>月～土曜：9:00 ～ 17:40（日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

北海道
- **札幌技術センター** (011)641-0751 〒063-0801 札幌市西区二十四軒１条7-3-17
- **函館出張所** (0138)52-5190 〒040-0001 函館市五稜郭町31-17
- **帯広出張所** (0155)21-2881 〒080-0011 帯広市西１条南26-19-1
- **旭川技術センター** (0166)22-8284 〒070-0031 旭川市一条通4-左10

青森
- **青森技術センター** (017)738-7778 〒030-0121 青森市妙見3-3-4
- **八戸出張所** (0178)45-2631 〒031-0802 八戸市小中野2-8-16

岩手
- **岩手技術センター** (019)638-6085 〒020-0891 紫波郡矢巾町流通センター南3-1-1

秋田
- **秋田技術センター** (018)865-1258 〒010-0941 秋田市川尻町字大川反170-56

宮城
- **仙台技術センター** (022)288-9161 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27

福島
- **福島技術センター** (024)959-1421 〒963-0547 郡山市喜久田町卸3-27-2

新潟
- **新潟技術センター** (025)284-6023 〒950-0965 新潟市中央区新光町９番２
- **長岡出張所** (0258)23-1850 〒940-1104 長岡市摂田屋町字崩2600

栃木
- **宇都宮技術センター** (028)634-0256 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41

群馬
- **前橋技術センター** (027)252-7311 〒371-0855 前橋市問屋町1-3-7

茨城
- **水戸技術センター** (029)243-0909 〒310-0851 水戸市千波町1963

埼玉
- **埼玉技術センター** (048)666-7148 〒331-0812 さいたま市北区宮原町2-107-2
- **埼玉西技術センター** (049)285-7294 〒350-2211 鶴ヶ島市脚折町3-14-20
- **埼玉東技術センター** (048)979-6459 〒343-0804 越谷市南荻島346-1

千葉
- **千葉技術センター** (043)299-8855 〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2
- **西千葉技術センター** (047)368-8346 〒270-2231 松戸市稔台6-6-1

東京
- **東京フィールドサポートセンター ソリューションシステム技術部 サポートセンター** (03)3624-7476 〒130-8610 東京都墨田区石原2-12-3
- **西東京技術センター** (042)548-1931 〒190-0023 東京都立川市柴崎町6-10-17

山梨
- **山梨出張所** (055)228-3833 〒400-0049 甲府市富竹2-1-17

神奈川
- **横浜技術センター** (045)753-9540 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23

長野
- **松本技術センター** (0263)85-4118 〒399-0031 松本市芳川小屋84-1
- **長野出張所** (026)293-6360 〒388-8014 長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1

富山
- **富山技術センター** (076)451-3933 〒930-0997 富山市新庄北町5-63

石川
- **金沢技術センター** (076)249-9033 〒921-8801 石川郡野々市町御経塚4-103

福井
- **福井出張所** (0776)53-6050 〒918-8206 福井市北四ツ居町625

岐阜
- **岐阜技術センター** (058)274-7996 〒500-8358 岐阜市六条南3-12-9

静岡
- **静岡技術センター** (054)344-5621 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1
- **沼津出張所** (055)924-1028 〒410-0062 沼津市宮前町11-4
- **浜松技術センター** (053)423-1660 〒435-0051 浜松市東区市野町2565-1

愛知
- **名古屋技術センター** (052)332-2758 〒454-0011 名古屋市中川区山王3-5-5
- **豊橋技術センター** (0532)54-1830 〒440-0086 豊橋市下地町橋口17-1
- **岡崎出張所** (0564)33-7178 〒444-0904 岡崎市西大友町字杭穴90-1

三重
- **三重技術センター** (059)231-1573 〒514-0131 津市あのつ台4-6-4

京都
- **京都技術センター** (075)681-9551 〒601-8102 京都市南区上鳥羽苗田町48

大阪
- **大阪フィールドサポートセンター** (06)6794-9671 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
- **北大阪出張所** (072)634-4683 〒567-0831 茨木市鮎川5-15-3
- **堺技術センター** (072)221-0451 〒590-0048 堺市堺区一条通16-8

和歌山
- **和歌山出張所** (073)445-6298 〒641-0031 和歌山市西小二里2-4-91

兵庫
- **阪神技術センター** (06)6421-2304 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10
- **神戸技術センター** (078)795-6336 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3-15-2
- **姫路出張所** (079)266-8295 〒671-2222 姫路市青山5-7-7

奈良
- **奈良技術センター** (0743)53-2023 〒639-1103 大和郡山市美濃庄町492

島根
- **松江技術センター** (0852)21-6110 〒690-0017 松江市西津田3-1-10

鳥取
- **鳥取出張所** (0857)28-4222 〒680-0942 鳥取市湖山町東4-27-1

岡山
- **岡山技術センター** (086)292-5830 〒701-0301 都窪郡早島町大字矢尾828

広島
- **広島技術センター** (082)874-6100 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
- **東広島技術センター** (082)428-3065 〒739-0142 東広島市八本松東4-3-30
- **福山技術センター** (084)952-0736 〒720-0841 福山市津之郷町津之郷272-1

山口
- **山口技術センター** (083)972-4525 〒754-0024 山口市小郡若草町4-12

香川
- **高松技術センター** (087)823-4980 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8

徳島
- **徳島出張所** (088)625-8840 〒770-0813 徳島市中常三島町3-11-14

高知
- **高知技術センター** (088)883-7039 〒781-8104 高知市高須1-14-43

愛媛
- **松山技術センター** (089)973-0121 〒791-8036 松山市高岡町178-1

福岡
- **福岡技術センター** (092)572-2617 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1
- **南福岡出張所** (0942)45-4551 〒839-0812 久留米市山川安居野3-12-47
- **北九州技術センター** (093)592-6510 〒803-0814 北九州市小倉北区大手町6-12

大分
- **大分技術センター** (097)552-2164 〒870-0913 大分市松原町3-5-3

長崎
- **長崎技術センター** (0957)53-3858 〒856-0817 大村市古賀島町613-3

熊本
- **熊本技術センター** (096)237-5353 〒861-3107 上益城郡嘉島町上仲間227-78

鹿児島
- **鹿児島技術センター** (099)259-0628 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町12-1

宮崎
- **宮崎技術センター** (0985)28-8371 〒880-0851 宮崎市港東1-3-2

沖縄シャープ電機株式会社 <受付時間>月～金曜：9:00 ～ 17:30（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

沖縄
- **沖縄シャープ電機(株)** (098)861-0866 〒900-0002 那覇市曙2-10-1

※所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2008.11)

仕　様

■製品仕様

機種名		LL-W191-W（フロスティホワイト） LL-W191-B（ブラック）	LL-W221-W（フロスティホワイト） LL-W221-B（ブラック）
液晶パネル		19 型ワイド（対角 48.1cm） TFT カラー液晶	22 型ワイド（対角 55.9cm） TFT カラー液晶
最大解像度		WXGA +　1440 × 900	WSXGA +　1680 × 1050
最大表示色		1677 万色	
画素ピッチ		水平 0.284mm ×垂直 0.284mm	水平 0.282mm ×垂直 0.282mm
最大輝度		270cd/m^2 ※輝度は、入力モードや画面の調整などにより変わります。また、輝度は経年により低下します。一定の輝度を維持するものではありません。	
コントラスト比		800：1	
視野角		左右 170°／上下 160°（コントラスト比≧10）	
表示画面サイズ		横 408.2mm ×縦 255.2mm	横 473.8mm ×縦 296.1mm
有効画素の割合※1		99.9996%以上	
映像入力信号		アナログ RGB（0.7Vp-p）[75 Ω]、デジタル DVI 規格 1.0 準拠	
同期入力信号		水平／垂直セパレート（TTL：正／負）、シンク・オン・グリーン、コンポジット・シンク（TTL：正／負）	
拡大補正		デジタルスケーリング（VGA/SVGA/XGA などを LL-W191 は WXGA +、LL-W221 は WSXGA +に補正して拡大表示） ※アスペクト比（縦横比）固定または、全画面への拡大表示。1：1 での表示はできません。	
プラグ&プレイ		VESA DDC2B 対応	
パワーマネージメント		VESA DPMS 準拠、DVI DMPM 準拠	
入力端子	コンピューター信号	アナログ：ミニ D-sub15 ピン（3 列） デジタル：DVI-D24 ピン（HDCP 対応）	
	音声	φ 3.5mm ミニステレオジャック	
出力端子	ヘッドホン	φ 3.5mm ミニステレオジャック	
スピーカー出力		1W + 1W	
画面角度調整		チルト：上向きに約 0°～ 20°、下向きに約 0°～ 5°	
電源		AC100V　50/60Hz	
使用温度条件		5℃～ 35℃	
消費電力		32W（音声入力なし）、最大 36W、 入力信号待機時 1.1W、電源切時 0.5W	38W（音声入力なし）、最大 43W、 入力信号待機時 1.1W、電源切時 0.5W
外形寸法		幅 約 439mm ×奥行 約 190mm ×高さ 約 366mm	幅 約 506mm ×奥行 約 210mm ×高さ 約 407mm
質量 （ケーブル類含まず）		約 3.8kg 約 3.5kg（スタンドを外した場合）	約 5.0kg 約 4.6kg（スタンドを外した場合）
梱包時寸法		幅 約 517mm ×奥行 約 170mm ×高さ 約 452mm	幅 約 588mm ×奥行 約 185mm ×高さ 約 510mm
梱包時質量		約 6kg	約 8kg

※1 本製品の液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素などの無効な画素が存在する場合があります。「有効画素の割合」とは、液晶パネルの全画素数のうち、それらの無効な画素を除いた有効な画素の割合を表しています。無効な画素は液晶パネルの故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

■対応信号タイミング

画面解像度		水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	ドット周波数（MHz）	LL-W191		LL-W221	
					アナログ	デジタル	アナログ	デジタル
VESA	640 × 480	31.5	60	25.175	○	○	○	○
		37.9	72	31.5	○	○	○	○
		37.5	75	31.5	○	○	○	○
	800 × 600	35.1	56	36.0	○	—	○	—
		37.9	60	40.0	○	○	○	○
		48.1	72	50.0	○	○	○	○
		46.9	75	49.5	○	○	○	○
	848 × 480	31.0	60	33.75	○	○	○	○
	1024 × 768	48.4	60	65.0	○	○	○	○
		56.5	70	75.0	○	○	○	○
		60.0	75	78.75	○	○	○	○
	1152 × 864	67.5	75	108.0	○	○	○	○
	1280 × 768	47.8	60	79.5	○	○	○	○
		60.3	75	102.25	○	○	○	○
	1280 × 960	60.0	60	108.0	—	—	○	○
	1280 × 1024	64.0	60	108.0	—	—	○	○
		80.0	75	135.0	—	—	○	○
	1360 × 768	47.7	60	85.5	○	○	○	○
	1400 × 1050	65.3	60	121.75	—	—	○	○
	1440 × 900	55.9	60	106.5	○	○	○	○
	1680 × 1050	65.3	60	146.25	—	—	○	○
US TEXT	720 × 400	31.5	70	28.3	○	○	○	○
Power Macintosh シリーズ	640 × 480	35.0	66.7	30.2	○	—	○	—
	832 × 624	49.7	74.6	57.3	○	—	○	—
	1024 × 768	60.2	75	80.0	○	—	○	—
	1152 × 870	68.7	75	100.0	○	—	○	—
	1280 × 1024	64.0	60	108.0	—	—	○	—
		80.0	75	135.0	—	—	○	—
Sun	1024 × 768	48.3	60	64.13	○	—	○	—
		53.6	66	70.4	○	—	○	—
		56.6	70	74.25	○	—	○	—
	1152 × 900	61.8	66	94.88	○	—	○	—
	1280 × 1024	71.7	67.2	117.01	—	—	○	—
	1600 × 1000	68.6	66	135.76	—	—	○	—

※ 推奨解像度は、1440 × 900［LL-W191］、1680×1050［LL-W221］です。
※ すべてノンインターレースのみの対応です。
※ 接続するコンピューターによっては、上記対応信号であっても正しく表示できない場合があります。
※ Power Macintosh、および Sun の各周波数は参考値です。また、接続には、市販の変換アダプターが必要になることがあります。
※ 本機で対応していない信号タイミングが入力されたときには、「入力信号が対応範囲外です」と表示されます。その場合、お使いのコンピューターの取扱説明書にもとづき、本機で対応している信号タイミングに設定してください。
※ 本機に何も信号（同期信号）が入力されない場合、「入力信号がありません」と表示されます。

■ DDC（プラグ&プレイ）

本機は、VESA の DDC（Display Data Channel）規格をサポートしています。
DDC とは、モニターとコンピューターのプラグ&プレイを行うための信号規格です。モニターとコンピューターの間で解像度などに関する情報を受け渡しします。この機能は、コンピューターが DDC に対応しており、プラグ&プレイモニターを検出する設定になっている場合に使用できます。
DDC には、通信方式の違いによりいくつかの種類があります。本機は、DDC2B に対応しています。

■パワーマネージメント

本機は、VESA DPMS、DVI DMPM に準拠しています。
パワーマネージメント機能が動作するためには、ビデオカードやコンピューターもこれらの規格に適合している必要があります。
DPMS：Display Power Management Signaling　　DMPM：Digital Monitor Power Management

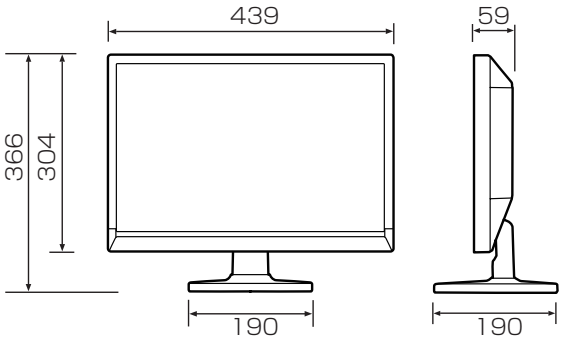
DPMSモード	画面	消費電力	水平同期	垂直同期
ON STATE	表示	36W(LL-W191) 43W(LL-W221)	あり	あり
STANDBY	無表示	1.1W	なし	あり
SUSPEND			あり	なし
OFF STATE			なし	なし

DMPMモード	画面	消費電力
Monitor ON	表示	36W(LL-W191) 43W(LL-W221)
Active OFF	無表示	1.1W

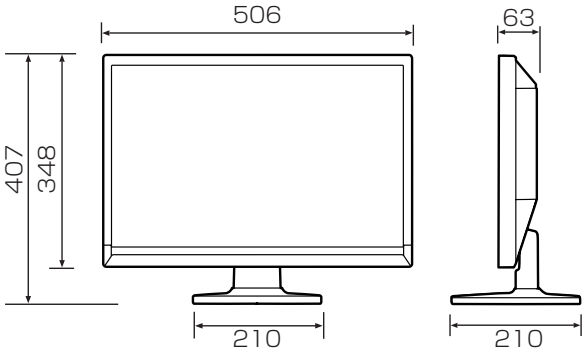
■外形寸法図（単位 mm）

数値はおよその値です。

【LL-W191】

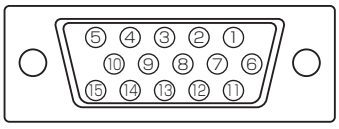


【LL-W221】



■ D-SUB 入力端子のピン配列

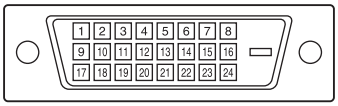
（ミニD-sub15ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	赤映像信号入力	9	+5V
2	緑映像信号入力	10	GND
3	青映像信号入力	11	N.C.
4	N.C.	12	DDCデータ
5	GND	13	水平同期信号用入力
6	赤映像信号用GND	14	垂直同期信号用入力
7	緑映像信号用GND	15	DDCクロック
8	青映像信号用GND		

■ DVI-D 入力端子のピン配列

（DVI-D24ピン）



番号	機　能	番号	機　能
1	TMDSデータ2−	13	N.C.
2	TMDSデータ2+	14	+5V
3	TMDSデータ2/4シールド	15	GND
4	N.C.	16	ホットプラグ検知
5	N.C.	17	TMDSデータ0−
6	DDCクロック	18	TMDSデータ0+
7	DDCデータ	19	TMDSデータ0/5シールド
8	N.C.	20	N.C.
9	TMDSデータ1−	21	N.C.
10	TMDSデータ1+	22	TMDSクロックシールド
11	TMDSデータ1/3シールド	23	TMDSクロック+
12	N.C.	24	TMDSクロック−

VESA 規格準拠アームの取り付けかた

VESA 規格に準拠した市販のアームを取り付けることができます。アームはお客様でご用意ください。

※ 本機に取り付けるアームは、以下の点に注意してお選びください。
- VESA 規格に対応し、本機に取り付ける部分のネジ穴間隔が 100mm × 100mm のもの
- 通風孔をふさがないもの
- 本機を取り付けても、外れたり、倒れたりしないもの

※ 市販のアーム取り付けに起因する事故、損傷については、当社は責任を負いません。

※ ケーブルを無理に曲げたり、ケーブルに力が加わらないようにしてください。断線などの故障の原因となります。

※ 本書とともに、アームに付属の説明書もよくお読みください。

⚠ 注意 指をはさんだり、スタンドを落としたりしないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。

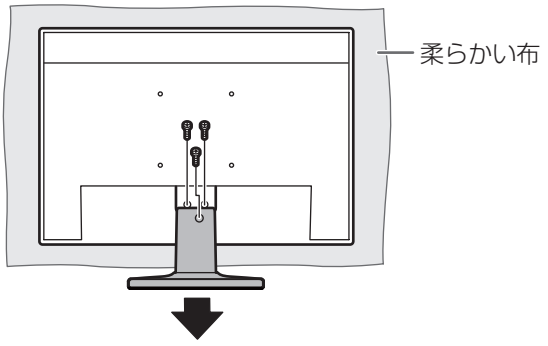
⚠ 注意 通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、発熱や発火の原因となることがあります。

1. ケーブルを取り外す。

2. 安定した水平な机などの上に、柔らかい布などを敷く。

3. 本機を傷つけないように、表示部を下向きにしてゆっくりと置く。

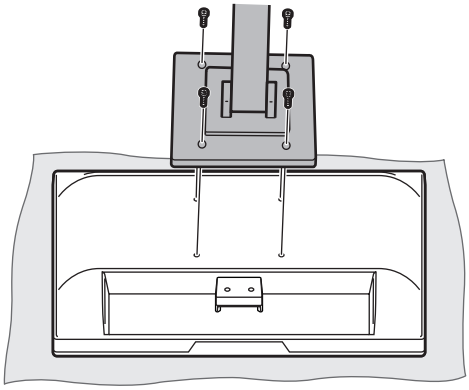
4. ネジ（3 本）を外して、スタンドを外す。



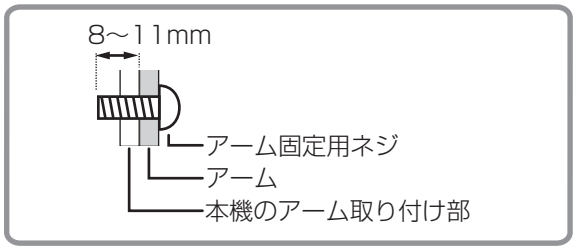
※ スタンド・台座は本機専用です。取り外したスタンドは他の機器で使用しないでください。

※ 取り外したネジは、スタンド･台座とともに保管し、再度スタンドを取り付けるときは、必ず元のネジを使用してください。別のネジを使用すると、故障などの原因となります。

5. アームをネジ（4 本）で固定する。



※ 固定用のネジは、アームの取り付け面からの長さが 8 ～ 11mm の M4 を使用してください。指定以外のネジを使用すると、脱落や、本機内部の破損の原因となります。



「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」
などはホームページをご活用ください。

▶▶▶ シャープサポートページ
http://www.sharp.co.jp/support/

使用方法・お買い物相談など
【お客様相談センター】

シャープ株式会社
0120-303-909（携帯電話・PHSからもご利用いただけます。）

受付時間 月～土曜:9:00～18:00 / 日曜・祝日:9:00～17:00（年末年始を除く）

■IP電話などフリーダイヤルをご利用いただけない場合は…

東日本相談室	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2
電話：043-351-1822	FAX：043-299-8280
西日本相談室	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72
電話：06-6792-1583	FAX：06-6792-5993

修理のご相談など
【修理ご相談窓口】（沖縄地区を除く）

シャープドキュメントシステム株式会社
0570-00-5008（●全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。 ●携帯電話からもご利用いただけます。）

受付時間 月～土曜：9:00～17:40（日曜・祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

■PHS・IP電話をご利用の方は…

東日本地区	03-3810-8604
西日本地区	06-6794-9676

■沖縄地区の方は…
沖縄シャープ電機株式会社　098-861-0866
（月～金曜: 9:00～17:30）
（土曜・日曜、祝日など弊社休日は休ませていただきます。）

●所在地・電話番号・受付時間などは変わることがあります。(2009.8)

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522　大阪市阿倍野区長池町22番22号
ビジネスソリューション事業本部　〒639-1186　奈良県大和郡山市美濃庄町492番地

J-Moss(JIS C 0950)で定められた特定化学物質の含有情報
http://www.sharp.co.jp/corporate/eco/data_list/greenseal/jmoss/

Printed in China

0NY22M184301A(1)
Q41G22M1843 1A